



見つめようこの百年、
うみ出そう次の百年。

町制施行100周年記念事業第3弾 町制施行100周年記念PR動画 出演者 大募集!

町制施行100周年事業推進事務局 事業推進係 ☎ 932-1111

町制施行100周年記念事業第3弾は、町制施行100周年まであと2年となる10月20日(土)に、町制施行100周年をPRする動画を撮影します。

YouTubeで人気のボーカロイド曲「千本桜」を、宇美八幡宮、井野山、光正寺古墳、一本松公園などを舞台に、得意な楽器で演奏していただきます。宇美町が好き、100周年の機運を盛り上げたい方のパフォーマンスで、話題性のあるPR動画を制作しますので、皆さんのご応募をお待ちしています。

動画における出演者の役割

映像制作会社が指定した場所や方法で、演奏や演舞を行っていただきます。

※和楽器(琴、三味線、尺八、篠笛など)の演奏ができる方、大歓迎です。

応募要領

- 撮影日 **10月20日(土)午後** ※雨天延期10月27日(土)
- 応募期限 8月31日(金)まで
- 応募方法 応募用紙に必要事項を記入のうえ、郵送、持参、FAX、メールにて応募してください。募集要項と応募用紙は、町ホームページに掲載しているほか、役場(総合案内)、うみ・みらい館、住民福祉センターに設置しています。
- 応募上の注意 宇美町の100周年を盛り上げたいと思っていただける方なら、誰でも応募できます。ただし、応募時点で20歳未満の方は、保護者の同意が必要です。(詳細は募集要項をご覧ください)
- 応募先 宇美町役場 町制施行100周年事業推進事務局
〒811-2192 福岡県糟屋郡宇美町宇美5-1-1
☎ 932-1111 (内線221) FAX 933-7512
✉ 100syuunen@town.umi.lg.jp

※集合場所、集合時間などの詳細は、9月以降、直接応募者へご連絡します。



▲福岡大空襲「火の雨」を語る早川さん

平和への思い

宇美町では原爆死没者の冥福と世界恒久平和の実現を祈念するため、今年も、8月6日、9日、15日に1分間の黙とうを捧げます。戦後73年の時が経ち、多くの尊い命が奪われた戦争の記憶も、どこか

薄れつつあるのかもしれない。しかし、戦争の悲惨さを後世に伝え、消え去ることのないよう記憶をつないでいくことが、未来の平和を守るために、今、私たちにできることではないでしょうか。

宇美町には、戦争の悲劇を二度と繰り返さないため、戦争を知らない世代の子供たちに戦争の悲惨さを語り継いでいる方がいらっしゃいます。

上宇美一自治会にお住まいの早川さんは教員定年後の25年間、毎年宇美町内そして近隣の小学校で、ご自身の戦争体験を踏まえ、子どもたちに平和の大切さを伝えてくださっています。

戦争を体験された早川さんの言葉には重みがあります。戦闘機が飛んできて爆弾を落とすとき、耳と目をきつく押さえて伏せたこと、うしななければ、鼓膜が破れ、目が飛び出るかもしれないから、からだそうです。焼夷弾により地面に突き刺さる何本もの爆弾と、燃える建物や工場、民家や学校、焦げた臭い、人や物が壊れていく光景など、計り知れないほどの恐怖の体験があったからこそ言葉の重みだと感じました。

悲惨な過去の歴史を変えることはできませんが、輝く未来を創ることはできます。身近な高齢者から体験談を聞き、争いの悲惨さを学び、一



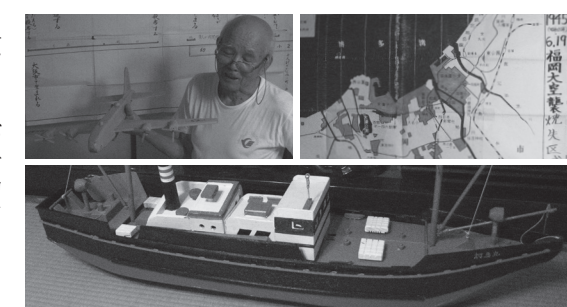
▲当時の防空頭巾を再現し、実際に被って説明される早川さん

ご自分で作られたさまざまな統計資料や防空頭巾、千針、外に光が漏れないように電灯の周りを囲んだ黒い布、対馬丸や焼夷弾、長崎と広島に落とされた原子爆弾やB29戦闘機の手作り模型、実際に原爆資料館に足を運び集められた資料の数々を前に、平和の尊さ、戦争は人間を滅ぼすことであり世の中の良いことを壊すことであると、子どもたちを思う深い愛情と、未来が平和であることを願う強い信念をもって話をしてくださっていました。

人ひとりが行動することが大切です。自分で考え、平和で安全な未来を創ること、これから先、あなた自身が、子どもが、孫が、戦禍に巻き込まれることのないよう、ぜひ、家族や友人、親子で平和について語り合ってみてはいかがでしょうか。

早川先生の話聞いた小学生の感想(一部抜粋)

- もう戦争はいやだ。だから友達と仲良くしたいと思いました。(3年女子)
- 戦争が起きないように、友達と家族とみんな仲良くして、楽しくできる国にしたいです。何十年何百年先



▲「B29 戦闘機」の模型を手にする早川さん(左上) 福岡大空襲焼失区域地図(右上)・模型船「対馬丸」(下)

- 戦争はやってはいけないということがよく分かりました。そして、普段の生活でもけんかはしないように、もし、けんかをしても、必ず早く仲直りが出来るように頑張りたいです。(5年女子)
- ぼくたちが修学旅行で行く長崎が何万人もの命が戦争で亡くなっているから絶対に一生戦争をしてはいけないと思います。「戦争は勝ち負けじゃない。滅びだけだ」という言葉が一番心に響きました。(6年男子)
- 戦争して得をする人などいない、残る者は悲しさや虚しさだけだと思います。早川先生の説明は、ものすごく心がこもっていて、ものすごく心に響きました。(5年男子)
- これから戦争が起きるかもとか深く考えたことなかったから不安になりました。でも、早川先生に「平和にするのは君たち」と言われ、自分たちで平和な未来を作っていかなければならないと思いました。(6年女子)
- 戦争はやってはいけないということがよく分かりました。にこれからは平和を守るためにこれからがんばります。(4年女子)

